作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	荒井伸太郎
所属機関名	工学部　電気電子システム学科
職位	准教授
在籍年	9

教育の責任

教育の責任：電気電子分野の情報工学と通信技術に関する教育を担当している。

教育の理念

学生が主体的に学び、成長できる環境を提供することを理念としている。具体的には、学びの「振り返り」を通じて理解を深め、講義内容を整理する力を養わせたいと考えている。また、ノートを取る行為を重視しており、能動的な学びを提供したい。講義の録画や mylog クラスプロファイルなどの Web ツールの利用により、学生の自主性を支える環境も整備している。大学教員として、学生には論理的思考力と実践力を育んでほしいと考えており、教育の質を向上させつつ、学生の未来を支えたい。

教育の方法・方針

上の教育理念を基に、以下の 4 つの方法を実践している。

（1）講義の最後に振り返りをしてもらい、それを課題として提出してもらっている。具体的には、その講義で何を学んだことと、自分が賢くなった点を書いてもらっている。振り返ることで、その日学んだことを整理してもらうだけでなく、要点をまとめる練習になるためである。この課題は講義の最後に提出してもらうため、まとめる時間と提出する時間を極力講義内に含めている。

（2）基本的にパワーポイントで資料を作成し、それを講義資料として配布している。ただし、印刷や文字コピーができないようにしている。ノートは取らないと頭に入らないので。あくまで参考資料として配布している。

（3）講義は録画しており、その動画を参考資料として mylog クラスプロファイルにアップしている。出欠に限らず、学生がいつでも振り替えられるようにするために動画を残している。

（4）Google クラスルームや Zoom のチャットを利用して、講義中に手をあげなくても発言できる環境を用意している。Google クラスルームではアンケート機能を使って、講義が一方向だけにならないように気を付けている。

教育の成果
授業アンケートの「総合的な満足度」の回答で、「満足」「ほぼ満足」と回答した学生の割合が平均で 90%であったことから、私の教育方針・方法がよく伝わっていると考える。実際、学生からも「講義資料がきれいで分かりやすい」、「課題をする時間を講義中にできるおかげで、記憶が新しい内に問題に取り組むことができ、自分の力を伸ばすことができた」という意見・コメントがあり、満足度の高さを裏付けている。
今後の目標
主体的な学びには、学生の視野を広げ、興味対象を増やすことだと考える。そのため、私が担当する講義や研究分野の国内外の専門家を（実現できる可能な範囲で）招いて多角的な学びを提供していただき、学生に刺激を与えたい。
根拠資料
これまでの主な担当科目（現在進行形で担当しているもの）は以下の通りである。 【科目名】情報リテラシー 【開講年度】2016-2024 春 【学年】学部 1 年 【種別】必修 【科目名】電波法規 【開講年度】2022-2024 春 【学年】学部 3 年 【種別】選択 【科目名】光情報工学 【開講年度】2023-2024 秋 【学年】学部 3 年 【種別】選択